

春夏にんじん優良品種の選定

～しみ症に強い品種の実証と品種の比較結果～

1 活動のねらい

春夏にんじんのしみ症（しみ腐病、乾腐病）対策を目的として、品種比較試験を実施し優良品種の選定をしました。

2 課題の背景

千葉市幕張地区は、都市化の進展が著しい地域で、限られた農地を有効に利用しながら長年春夏にんじんが栽培されています。

しかし、近年はしみ症の発生により収量、品質の低下、選別作業の労働負担が問題となっています。

そのため、しみ症に強い品種を選定する必要がありました。

3 調査結果

J A千葉みらい幕張出荷組合連合会にんじん部会役員のほ場6か所で品種比較試験を実施しました。

収穫調査は各品種 40 本を掘取り、しみ症の発生状況と生育状況を調査・比較しました。

(1) 試験の概要

表 1 試験の概要（6ほ場）

| | 品種 | は種日 | マルチ | 条数 | 調査日（栽培期間） |
|-----|--------------|-------|-----|----|--------------------|
| ほ場① | アロマ809 | 1月29日 | 無 | 7 | 5月24日（115日） |
| | アロマ810 | | | | |
| | FSC-015(慣行) | | | | |
| ほ場② | アロマ809 | 1月28日 | 無 | 7 | 6月1日（124日） |
| | FSC-1001(慣行) | | | | |
| ほ場③ | アロマ809 | 2月4日 | 無 | 7 | 6月9日（125日） |
| | アロマ810 | | | | |
| ほ場④ | 彩極 | 2月20日 | 透明 | 7 | 6月15日（115日） |
| | FSC-1001(慣行) | | | | |
| ほ場⑤ | アロマ809 | 2月24日 | 透明 | 7 | 6月19日（115日・119日） |
| | アロマ810 | 2月20日 | | | |
| ほ場⑥ | アロマ809 | 2月24日 | 黒 | 8 | 6月19~20日（115~116日） |
| | アロマ810 | | | | |

注) 供試品種「アロマ809」「アロマ810」〔(株)トーホク〕
「彩極」〔(株)フジイシード〕

(2) 調査結果

表 2 各品種の生育状況としみ症の発生状況

| | 品種 | しみ症 (%) ※ | 全長 (cm) | 根長 (cm) | 根重 (g) | 根径 (mm) | 根長(mm)/根径 (mm) |
|-----|--------------|------------|---------|---------|--------|---------|----------------|
| ほ場① | アロマ809 | 0/40 (0) | 70.0 | 17.0 | 197 | 49 | 3.5 |
| | アロマ810 | 0/40 (0) | 67.6 | 16.5 | 208 | 48 | 3.4 |
| | FSC-015(慣行) | 7/40 (18) | 75.8 | 16.9 | 217 | 51 | 3.3 |
| ほ場② | アロマ809 | 5/40 (13) | 72.0 | 19.6 | 248 | 53 | 3.7 |
| | FSC-1001(慣行) | 3/40 (8) | 75.0 | 18.6 | 255 | 56 | 3.3 |
| ほ場③ | アロマ809 | 1/40 (3) | 62.1 | 20.4 | 234 | 53 | 3.8 |
| | アロマ810 | 1/40 (3) | 68.3 | 20.4 | 258 | 53 | 3.8 |
| ほ場④ | 彩極 | 17/40 (43) | 59.4 | 17.7 | 168 | 46 | 3.8 |
| | FSC-1001(慣行) | 22/40 (55) | 70.5 | 15.5 | 149 | 45 | 3.4 |
| ほ場⑤ | アロマ809 | 9/20 (45) | 60.2 | 18.0 | 180 | 46 | 3.9 |
| | アロマ810 | 2/20 (10) | 63.6 | 19.3 | 223 | 47 | 4.1 |
| ほ場⑥ | アロマ809 | 13/40 (33) | 67.9 | 21.4 | 335 | 56 | 3.8 |
| | アロマ810 | 15/40 (38) | 64.8 | 20.9 | 301 | 54 | 3.9 |

※しみ症発生本数/調査本数(発生割合%)

6月上旬までの調査結果をみると「アロマ809」と「アロマ810」は、慣行品種と比較するとしみ症の発生が少ない傾向でした。しかし、収穫時期が遅くなるにつれてしみ症の発生が増加する傾向にありました。

「彩極」は、葉が短くて掘取作業が楽で大きさも M~L でまとまったとの生産者の意見がありました。しかし、しみ症の発生が課題と考えられます。

2月のは種では、低温・少雨乾燥により発芽の悪かったほ場もみられました。気象状況を踏まえた作業計画を考える必要があります。

なお、調査結果については、生産者に出荷反省会や講習会で情報を共有しました。



〔アロマ809：収穫後〕

4 今後の課題

本年は、2月以降は平均気温が平年を上回り温暖に推移したため、6月以降の出荷はL級以上の大きな階級が増えました。今後も温暖化傾向が予想されるため、しみ症に強い品種と形状の優れた品種の選定が必要です。

5 担当者 千葉・習志野グループ ◎染谷肇、間宮ちさこ、楠本あゆ香、木村明花音

6 協力機関 JA千葉みらい西部営農センター